

私たちは、岡山県北で元気を創造している人を応援しています。

真庭市  
市長 太田 昇

×

インタビュアー【シリウスグループ】  
イコール株式会社 代表 池田 誠



奇跡の湯 奥津温泉ホテル

米屋倶楽部 奥津

TEL:0868-52-0016 <http://www.komeyaclub-okutsu.jp>



## 多彩な真庭の 資源を活かす

太田市長さんほどのような少年  
年だったんですか？

私は旧久世町の出身で、川があり山があり田んぼがあまりの自然豊かなところで生まれ育ちました。あの当時の子どもはみんなそうでしたが、小刀や折りたたみナイフを持ち歩いていて、竹を切ってはくす玉鉄砲を作ったり、河原の堤防の斜面をソリで滑ったりしていましたね。

旭川の本流に近かったから、夏は用水路をプール代わりにして使いましたよ。私は竿釣りは苦手でしたが、手で取る網取りや泳いで魚を捕まえる事は得意でした。捕った魚はその日の晩ご飯になって、当時の貴重なタンパク源になっていました。中学ではバスケット部に所属し、朝から晩までバスケットに明け暮れていました。

当時は町が合併したばかりで、中学校に体育館がなく、別の遠い場所まで走って部活をしに行っていました。美作大会には常に出場していたんですよ。私はバスケットは下手だったんですが、口だけは達者だったんで、キャプテンをつめていたんです。あとは生徒会長もしていたんですよ。

すごく優秀な生徒だったんですね！

・・・と思われるでしょうが、実は無免許でカブに二人乗りして警察に見つかかりバイクを置いて走って逃げたり、バッテリーを使って魚を感電させて捕ったり、そんな悪さもしていました。生徒会長だったから本場に警察に捕まらなくて良かったです(笑)

そんな私ですが、生徒会で交通安全のため毎朝踏切に立つようになっています、それを警察から善行少年として表彰されたこともあります。申し訳なかつたですね。

高校や大学時代はどうでしたか？

両親からはとにかくしっかり勉強をして学校へ行けと言われていました。家は農業をしていましたが、跡を継がせる気はなかったようです。金はなくとも勉強をさせるという教育方針でした4つ上の姉がいるんですが、その当時としてはめずらしく4年制大学へ進学しました。ですから、自分も大学に行くのが当然のように思っています。



た部分もありましたね。ちょこちょこ悪さもしつつ、しかし夜はしっかり勉強をしていましたよ。高校は津山高校へ進学しました。姉も津山高校で3年間ずっと久世から通っていました。私は一年半だけ通ってあとは下宿しました。下宿してからは、受験勉強に励んでいたと言いたいんですが、下宿仲間と遊んでしまっていて…。クズ葡萄をもらって下宿先で葡萄酒を作ってみなで飲んだりしていました。

カビが湧いても関係なしで飲んでました。結局そんな感じだから学校も行かずに、当時の下宿仲間は自分も含めみんな進学に失敗しました。一浪して京都大学へ進学できました。

**なぜ京都だったんですか？**

中学校の修学旅行が京都だったんですが、その時庭園を見て感動したんです。かなり古風な少年だったんですよ。あと、姉も京都大学だったんで姉が卒業後、そのま

まそこへ下宿したりと、何かと便利というのもありました。卒業後は、たまたまなんですけど、そのまま京都へ残り、府庁へ就職しました。

**京都府庁では？**

私が入庁した頃は高度成長でどんどん農山村が駄目になっていった時代でした。農山村を元気にするにはどうしたら良いか、という問題意識は常に持っていました。京都府庁で働いている頃、ふるさと創世の担当係長になったんです。一番最初に手掛けたのが南丹市美

山町でした。今では「美山かやぶきの里」として有名になりましたが、当初は茅葺きなんて貧乏の象徴だ、という考えの人もいれば、この民族文化を守ってほしいという人もいました。閉鎖集落でしたが、多くの人に見せる事に意味があるんだと思いました。日本の山村の原風景である暮らしの部分を大事にしたいと思いましたが、その中で普通に暮らす事が、観光として長続きすると思えました。観光とは光を見せる物だから、光を見せるプライドと言っつか、それが

**観光とは『光』を見せるもの  
その光を見せるプライドを持つ**



**イコール株式会社 代表 池田 誠**

プロフィール  
勝山高校卒業後、大阪の旅行社へ就職。数年後旅行社創業。…現在に至る。奥津温泉や湯原温泉を中心に、ホテル旅館業、旅行業、旅館の再生事業をしている。

**真庭市 市長 太田 昇**

プロフィール  
1951年生まれ。旧真庭郡久世町出身。京都大学法学部を卒業後、京都府へ入庁。知事室長、総務部長を経て、10年に副知事に就任。13年4月24日に真庭市長に就任し、現在に至る。

ないと訪れる人に訴える力がない  
と思うんです。

### 「これからの真庭市のビジョンを

#### 教えてください」

天変地異に対して安心・安全が  
大前提ですが、その他にグロ―

バル社会も前提にしながら地域資  
源をいかに見つけ出して付加価値  
を付けながらいかに回していくか

もちろん優秀な企業に入ってもら  
う事も必要ですが、やはりペー

スは地域資源に着目して経済活動  
をどう行うかという事。そう考え  
たら真庭の場合、農業・林業は外  
せませんし、そこに正面から向き  
合わないといけません。真庭市と  
なって10 年経過して「大真庭」

というか多彩な真庭が合併してひ  
とつになっているので、この資源  
を全体として使い、合併の効果を  
出していきたいです。また、少子

高齢化の中でそれぞれの地域が衰  
退しているのは事実なので、地域  
のコミュニティをもう一度再生し  
ていかなければ安心・安全の地域

社会は出来ません。子育ての事や  
女性の地位向上 NPO 活動や自治  
体の地域活動などを重層的に組合  
わせて行くことが大切でしょう。

また、町の中に多くのミニ図書館  
があればいいと考えています。湯  
原で例えるならオオサンショウウオ  
の専門的な本を10 年かけて集め  
るところですね。

今後の予算で司書の資格を取るの  
に補助を出す制度も考えています

し、図書館構想を打ち出します。

市民レベルを上げていき、教育に  
対する田舎のハンディを克服して  
いきたいですね。